

#### 四. 前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

該当事項はありません。

### 流動性力バレッジ比率に関する定性的開示事項

#### 一. 時系列における流動性力バレッジ比率の変動に関する事項

##### 連結流動性力バレッジ比率

(単位：百万円、%、件)

項目	2023年度第2四半期	2025年度第2四半期
<b>適格流動資産</b>		
1 適格流動資産の合計額	2,681,553	1,646,307
資金流出額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	8,061,854	587,019
うち、安定預金の額	3,133,973	94,019
うち、準安定預金の額	4,927,881	492,999
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	4,057,590	2,302,024
うち、適格オペレーション預金の額	—	—
7 うち、適格オペレーション預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	3,969,787	2,214,221
8 うち、負債性有価証券の額	87,802	87,802
9 有担保資金調達等に係る資金流出額	305	—
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	501,919	260,349
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	224,977	224,977
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	276,941	35,371
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	112,038	101,861
15 偶発事象に係る資金流出額	3,394,353	35,690
16 資金流出合計額	3,287,249	2,305,640
資金流入額	資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額
17 有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—
18 貸付金等の回収に係る資金流入額	1,164,080	757,204
19 その他資金流入額	344,490	295,964
20 資金流入合計額	1,508,570	1,053,169
連続流動性力バレッジ比率	2,681,553	1,646,307
21 算入可能適格流動資産の合計額	2,234,080	1,174,177
22 純資金流出額	—	—
23 連続流動性力バレッジ比率	120.0	140.2
24 平均値計算用データ数	62	62

##### 単体流動性力バレッジ比率

(単位：百万円、%、件)

項目	2023年度第2四半期	2025年度第2四半期
<b>適格流動資産</b>		
1 適格流動資産の合計額	2,675,919	1,646,307
資金流出額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	8,061,854	587,019
うち、安定預金の額	3,133,973	94,019
うち、準安定預金の額	4,927,881	492,999
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	4,057,893	2,302,903
うち、適格オペレーション預金の額	3,970,090	2,215,100
7 うち、適格オペレーション預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	—	—
8 うち、負債性有価証券の額	87,802	87,802
9 有担保資金調達等に係る資金流出額	305	—
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	516,383	274,813
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	224,977	224,977
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	291,405	49,835
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	112,003	101,834
15 偶発事象に係る資金流出額	3,387,637	35,489
16 資金流出合計額	3,302,365	2,306,102
資金流入額	資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額
17 有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—
18 貸付金等の回収に係る資金流入額	1,163,664	756,800
19 その他資金流入額	341,889	295,961
20 資金流入合計額	1,505,554	1,052,762
単体流動性力バレッジ比率	2,675,919	1,646,307
21 算入可能適格流動資産の合計額	2,249,602	1,172,107
22 純資金流出額	—	—
23 単体流動性力バレッジ比率	118.9	140.4
24 平均値計算用データ数	62	62

(1) 2016年度第4四半期より、日次で計測した流動性力バレッジ比率の平均値を使用しております。

(2) 2025年度第2四半期の連続流動性力バレッジ比率は、2023年度第2四半期より+20.2ポイントの140.2%、単体流動性力バレッジ比率は同+21.5ポイントの140.4%となりました。上の主な要因は純資金流出額の減少であります。

## 二. 流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

2025年度第2四半期の連結流動性カバレッジ比率、単体流動性カバレッジ比率は、純資金流出額を上回る適格流動資産を保有し規制水準を上回る水準にあることから、流動性に係る健全性が確保されていると評価しております。

## 三. 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産は、現金、中央銀行への預け金のほか、保有する国債等により構成されています。2023年度第2四半期から2025年度第2四半期にかけての算入可能適格流動資産の減少は、「中央銀行への預け金」の減少を主因とするものです。

## 四. その他流動性カバレッジ比率に関する事項

- (1) 流動性比率告示第29条に定める「適格オペレーション預金に係る特例」の適用はございません。
- (2) 「デリバティブ取引等及びレポ形式の取引等の時価変動に伴う資金流出額」の算定には、流動性比率告示第38条に定める「シナリオ法」は適用しておりません。
- (3) 流動性比率告示第60条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、預金保険料、支払法人税等が含まれております。
- (4) 流動性比率告示第53条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」、流動性比率告示第73条に定める「その他契約に基づく資金流入額」には、重要な項目は含まれおりません。
- (5) 流動性カバレッジ比率に与える影響に鑑み、重要性が乏しいと考えられる項目については日次データを使用しております。

## 安定調達比率に関する定性的開示事項

### 一. 時系列における安定調達比率の変動に関する事項

#### 連結安定調達比率

項番		2022年度第2四半期				2025年度第2四半期			
		算入率考慮前金額				算入率考慮後 金額	算入率考慮前金額		
		満期なし	6月末満	6月以上 1年未満	1年以上		満期なし	6月末満	6月以上 1年未満
<b>利用可能安定調達額(1)</b>									
1	資本の額	965,671	—	—	—	965,671	1,033,099	—	—
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	965,671	—	—	—	965,671	1,033,099	—	—
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—
4	個人及び中小企業等からの資金調達	5,536,407	2,421,795	—	—	7,316,945	5,836,137	2,230,883	—
5	うち、安定預金等の額	2,868,676	222,575	—	—	2,936,689	3,010,807	191,260	—
6	うち、準備金預金等の額	2,667,730	2,199,220	—	—	4,380,255	2,825,329	2,039,622	—
7	ホールセール資金調達	2,327,212	1,504,213	224,645	812,142	2,282,888	2,575,326	2,419,195	631,248
8	うち、適格オペレーション預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	2,327,212	1,504,213	224,645	812,142	2,282,888	2,575,326	2,419,195	631,248
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	218,739	102,073	—	20,350	—	95,330	—	28,879
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	7,514	—	—	—	4,807
13	うち、上記に含まれない負債の額	218,739	102,073	—	12,835	—	95,330	—	24,072
14	利用可能安定調達額合計	—	—	—	—	10,565,505	—	—	10,938,275
<b>所要安定調達額(2)</b>									
15	流動資産の額	—	—	—	—	29,701	—	—	263,229
16	金融機関等に預け入れているオペレーション預金に相当するものの額	—	—	—	—	—	—	—	—
17	貸出金又はレボ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	869,997	1,907,819	594,541	7,876,334	8,526,135	759,636	2,032,649	628,718
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレボ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、頂番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレボ形式の取引による額	14	318,884	87,092	730,701	822,094	9	444,094	88,823
20	うち、貸出金又はレボ形式の取引による資産の額（頂番18、19及び22に該当する額を除く。）	60,264	1,381,319	410,500	3,503,150	3,924,812	65,335	1,301,823	457,347
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	—	—	—	—	88,732	93,859	619,973
22	うち、住宅ローン債権	—	76,127	78,895	3,349,606	2,698,405	—	76,612	79,784
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	33,016	33,868	1,131,360	768,826	—	29,518	29,823
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	809,718	131,487	18,054	292,876	1,080,823	694,291	210,119	2,762
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—
26	その他の資産等	195,989	326,849	10,262	233,936	759,875	176,455	270,201	8,498
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	—	—	—	—	—	—	—	—
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（連結貸借対照表に計上されないものを含む。）	—	—	—	4,149	3,527	—	—	35,802
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減ずる前）の額	—	—	—	1,543	1,543	—	—	3,826
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	195,989	326,849	10,262	228,243	754,804	176,455	270,201	8,498
32	オフ・バランス取引	—	—	—	3,753,000	182,190	—	—	3,699,030
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	9,497,903	—	—	10,127,509
34	連結安定調達比率	—	—	—	—	111.2%	—	—	108.0%

## 単体安定調達比率

項番		2022年度第2四半期				2025年度第2四半期					
		算入率考慮前金額		算入率 考慮後 金額	算入率考慮前金額		算入率 考慮後 金額				
		満期なし	6月末満 1年未満		6月以上 1年以上	満期なし	6月末満 1年未満	6月以上 1年以上			
<b>利用可能安定調達額(1)</b>											
1	資本の額	965,671	—	—	—	965,671	1,033,099	—	—	1,033,099	
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	965,671	—	—	—	965,671	1,033,099	—	—	1,033,099	
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	個人及び中小企業等からの資金調達	5,536,424	2,421,795	—	—	7,316,961	5,836,206	2,230,883	—	—	7,420,485
5	うち、安定預金等の額	2,868,686	222,575	—	—	2,936,699	3,010,827	191,260	—	—	3,041,984
6	うち、準安定預金等の額	2,667,738	2,199,220	—	—	4,380,262	2,825,378	2,039,622	—	—	4,378,501
7	ホールセール資金調達	2,368,313	1,454,149	229,045	812,142	2,274,698	2,590,183	2,426,794	641,648	627,966	2,494,363
8	うち、適格オペレーション預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	2,368,313	1,454,149	229,045	812,142	2,274,698	2,590,183	2,426,794	641,648	627,966	2,494,363
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	185,690	101,862	—	20,350	—	122,600	100,867	—	28,879	—
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	7,514	—	—	—	—	4,807	—
13	うち、上記に含まれない負債の額	185,690	101,862	—	12,835	—	122,600	100,867	—	24,072	—
14	利用可能安定調達額合計	—	—	—	—	10,557,331	—	—	—	—	10,947,949
<b>所要安定調達額(2)</b>										—	
15	流動資産の額	—	—	—	—	27,535	—	—	—	263,229	
16	金融機関等に預け入れているオペレーション預金に相当するものの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
17	貸出金又はレボ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	869,997	1,933,277	595,885	7,884,362	8,533,669	759,636	2,039,483	628,718	8,861,117	9,187,609
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレボ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレボ形式の取引による額	14	358,586	88,436	738,729	836,749	9	444,094	88,823	848,416	959,452
20	うち、貸出金又はレボ形式の取引による資産の額（項番18、19及び22に該当する額を除く。）	60,264	1,367,076	410,500	3,503,150	3,917,690	65,335	1,308,657	457,347	3,879,616	4,112,216
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	—	—	—	—	—	88,732	93,859	619,973	494,278
22	うち、住宅ローン債権	—	76,127	78,895	3,349,606	2,698,405	—	76,612	79,784	3,775,963	3,099,529
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	33,016	33,868	1,131,360	768,826	—	29,518	29,823	941,188	641,443
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	809,718	131,487	18,054	292,876	1,080,823	694,291	210,119	2,762	357,121	1,016,411
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
26	その他の資産等	195,989	326,535	10,262	118,633	644,258	180,326	266,330	8,498	88,681	497,936
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（連結貸借対照表に計上されないものを含む。）	—	—	—	4,149	3,527	—	—	35,802	30,431	
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減ずる前の額）	—	—	—	1,543	1,543	—	—	3,826	3,826	
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	195,989	326,535	10,262	112,939	639,187	180,326	266,330	8,498	49,052	463,678
32	オフ・バランス取引	—	—	—	3,747,740	181,927	—	—	3,716,830	183,040	
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	9,387,390	—	—	—	10,131,816	
34	単体安定調達比率	—	—	—	—	112.4%	—	—	—	108.0%	

(1) 2021年度第2四半期より、流動性比率規制（第1の柱・第3の柱）に関する告示等の一部改正に伴い安定調達比率の計測を開始しております。

(2) 2025年度第2四半期の連結安定調達比率は、2022年度第2四半期より▲3.2ポイントの108.0%、単体安定調達比率は同▲4.4ポイントの108.0%となりました。以下の主な要因は所要安定調達額の増加であります。

## 二. 流動性比率告示第百一条各号に掲げる要件に関する該当事項

流動性比率告示第101条に定める「相互に関係する資産・負債の特例」への適用はございません。

## 三. その他安定調達比率に関する事項

2025年度第2四半期の連結安定調達比率、単体安定調達比率は、安定的な資金調達構造の下、規制水準を上回ることから、中長期の流動性に係る健全性が確保されていると評価しております。